



いにしへの風情に浸りながら、
先人たちが培ってきた思いを受け止め、
歴史を未来へとつなぐ

日本遺産とは

「日本遺産 (Japan Heritage)」とは、地域の歴史的な魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産 (Japan Heritage)」として文化庁が認定するものです。

山寺が支えた紅花文化

山形県で古くから栽培され、県の花にも指定されている紅花。江戸時代の最盛期には、全国生産量の50～60%を占め、質量ともに日本一と言われました。質の高い山形の「最上紅花」は上方で高級品として扱われ、紅花商人による交易を通して、この地に莫大な富と豊かな文化をもたらしました。この紅花は、栽培、交易などの面で山寺と歴史的な関わりがあり、「山寺が支えた紅花文化」として平成30年度に文化庁から「日本遺産」に認定されました。

日本遺産認定ストーリー概要 (H30.5.24認定)



鬱蒼と茂る木々に囲まれた参道石段と奇岩怪石の景勝地「山寺」。この山寺が深く関わった紅花栽培と紅花交易は、莫大な富と文化をこの地にもたらしました。石積みの堀と板黒塀に囲まれた広大な敷地を持つ豪農・豪商屋敷には白壁の蔵座敷が立ち並び、上方文化とのつながりを示す雅な雛人形や紅花染めの衣装を身に着けて舞う舞楽が今なお受け継がれ、華やかな彩りを添えています。この地の隆盛を支えた山寺を訪れ、この地域に今も息づく紅花畑そして紅花豪農・豪商の蔵座敷を通して、芭蕉も目にしたこの地域の隆盛を偲ぶことができます。

【調べてみよう】最上川舟運によって山形県にはどんなものもたらされたのでしょうか？

1.山寺が深く関わった紅花交易ゆかりの文化財(主なもの)



最上川(寒河江市、天童市、尾花沢市、中山町、河北町)
県土を貫き日本海に注ぐ母なる川。流域面積は山形県の面積の約75%にあたり、日本三大急流の一つ。最上川の氾濫原と朝霧や朝露がたちやすい気候条件が紅花栽培に適し、沿岸の集落が紅花の主要な産地となりました。紅花は最上川舟運により上方に運ばれました。



紅の蔵及び収蔵資料(旧長谷川家)(山形市)
江戸時代、紅花商人(豪商)として活躍した長谷川家の屋敷。通りに面し、門を構え、店蔵、座敷蔵が残っています。



芭蕉、清風歴史資料館(旧丸屋鈴木家)(尾花沢市)
江戸時代、紅花商人(豪商)として活躍した鈴木清風を紹介する資料館。俳人でもあった清風は松尾芭蕉に山寺参詣を勧め、その道中、芭蕉は紅花畑や山寺で名句を残しました。



紅花資料館及び収蔵資料(旧堀米家)(河北町)
江戸時代、紅花商人(豪農)として活躍した堀米家の屋敷。座敷蔵、御朱印蔵、母屋、武者蔵、雛人形、紅花染め衣装などが残っています。

町指定有形文化財



旧柏倉家住宅及び収蔵資料(中山町)
江戸時代、紅花生産者(豪農)として活躍した柏倉家の屋敷。主屋、長屋門はじめ附属屋、土蔵などの屋敷構え。座敷蔵には上方由来の雛人形をはじめ、数多くの調度品が残っています。

県指定有形文化財



ふるさと資料館及び収蔵資料(旧佐藤家)(山辺町)
江戸時代、紅花、青苧等を幅広く扱う商人(豪農)として活躍した佐藤清五郎家の屋敷。享保雛や古今雛、紅花染め衣装などが残っています。

2.山寺・紅花交易がもたらした紅花文化ゆかりの文化財(主なもの)



はやしけ ぶ がく
林家舞楽(河北町)

山寺立石寺建立とともに上方より伝えられた舞楽。谷地八幡宮神職林家により一子相伝で1,100余年にわたり伝承されています。紅花染めの衣装が用いられます。

国指定重要無形民俗文化財



じ おん じ ほんどう
本山慈恩寺本堂(寒河江市)

慈恩寺本堂前において、林家と慈恩寺一山衆により、慈恩寺舞楽が奉奏されます。

国指定重要文化財



が がく
尾花沢雅楽(尾花沢市)

江戸時代、紅花交易が盛んだった頃、最上川舟運を介しもたらされた宮廷の風雅な調べが念通寺を中心に伝承されています。

市指定無形文化財



く ひ
芭蕉の句碑(天童市)

「眉掃きを俤にして紅粉の花」。江戸時代に山寺参詣の途中、紅花畑を目にした芭蕉が紅花を題材に句を詠んだという場所に句碑があります。



きょうほう だいらり びな
享保内裏雛(河北町)

上方との紅花交易によってもたらされた、華やかな雛人形のひとつです。

町指定有形文化財

【調べてみよう】
あなたの住んでいる市(町)には、どんな民俗芸能が受け継がれているでしょうか？



びょうぶ
紅花屏風(山形市)

●紅花屏風 ◎長谷川コレクション・山寺芭蕉記念館 所蔵

江戸時代に「最上紅花」の名で知られた山形の特産品紅花の栽培から収穫、紅餅に加工する作業や上方へ運び取り引きの様子を描いた屏風。(詳しくは6~7ページ)

県指定有形文化財

げん ろく べにばなぞめ こそで
紅花染め衣装(元禄紅花染小袖)(山辺町)

紅花は上方に運ばれたのちに西陣織などの染料となりました。豪農商が上方から買い求めた紅花染め衣装が当地には数多く残ります。

町指定有形文化財



[山寺]

860(貞観2)年、清和天皇の勅願により慈覚大師が開いた、天台宗の寺院「立石寺」を中心とする通称「山寺」。1015段の石段を上りながら眺める切り立った崖に立つお堂や、自然の神秘あふれる奇岩怪石はまさに絶景!

[松尾芭蕉]

江戸時代前期の俳人。弟子の曾良を伴って江戸深川を出発し、東北、北陸、岐阜の大垣までの約2,400kmを約5か月半かけて旅をしたのは1689(元禄2)年のこと。山形に立ち寄った時に詠んだ「閑かさや岩にしみ入る蟬の声」は代表的な一句。



[芋煮]

江戸時代、最上川流域の船着場で船頭たちが地元で収穫された里芋と舟運で運ばれた棒だらを一緒に鍋で煮て食べたのが「芋煮」のルーツ(諸説あり)。

3.日本一の紅花産地を支えた紅花栽培にかかる文化財(主なもの)



紅花畑の景観(山形市、天童市、中山町、河北町)

紅花栽培は当地の気候風土と合い、江戸時代には全国生産の大半を占めました。紅花は、西陣織や化粧用に加工される貴重な赤い染料として高く評価され、当地を経済面でも文化面でも大きく発展させました。7月になり開花が始まると、県内の生産地や紅花まつりの会場となる紅花畑は一面の黄色で埋めつくされます。



紅餅の製作技術

(山形市、天童市、中山町、河北町)

紅花に含まれる赤い色素はわずか0.5%。収穫後によく洗い、黄色素を取り除き、干して丸めて乾燥させた紅餅の状態でお届けしました。当地産の紅餅は品質の良い高級品で「最上紅花」と呼ばれ、その取引が当地に経済的発展をもたらしました。

紅花まつり(山形市、天童市、中山町、河北町)

江戸時代に当地で盛んに行われていた紅花の収穫、紅餅づくり、紅花染めなどが体験できる初夏のまつり。映画「おもひでぼろぼろ」の舞台となった山形市高瀬地区、中山町旧柏倉九左衛門家周辺、天童市上貫津地区、河北町紅花資料館などで毎年7月上旬に行われます。



[おみづけ]

おみづけは青菜とにんじんや大根、シソの実などを漬けたもの。当時、山形の人々が青菜の葉先を捨てていたのを見た近江商人が、余った野菜を無駄にせず漬け物にして食した。「近江漬け」が訛って「おみづけ」と呼ばれるようになりました。



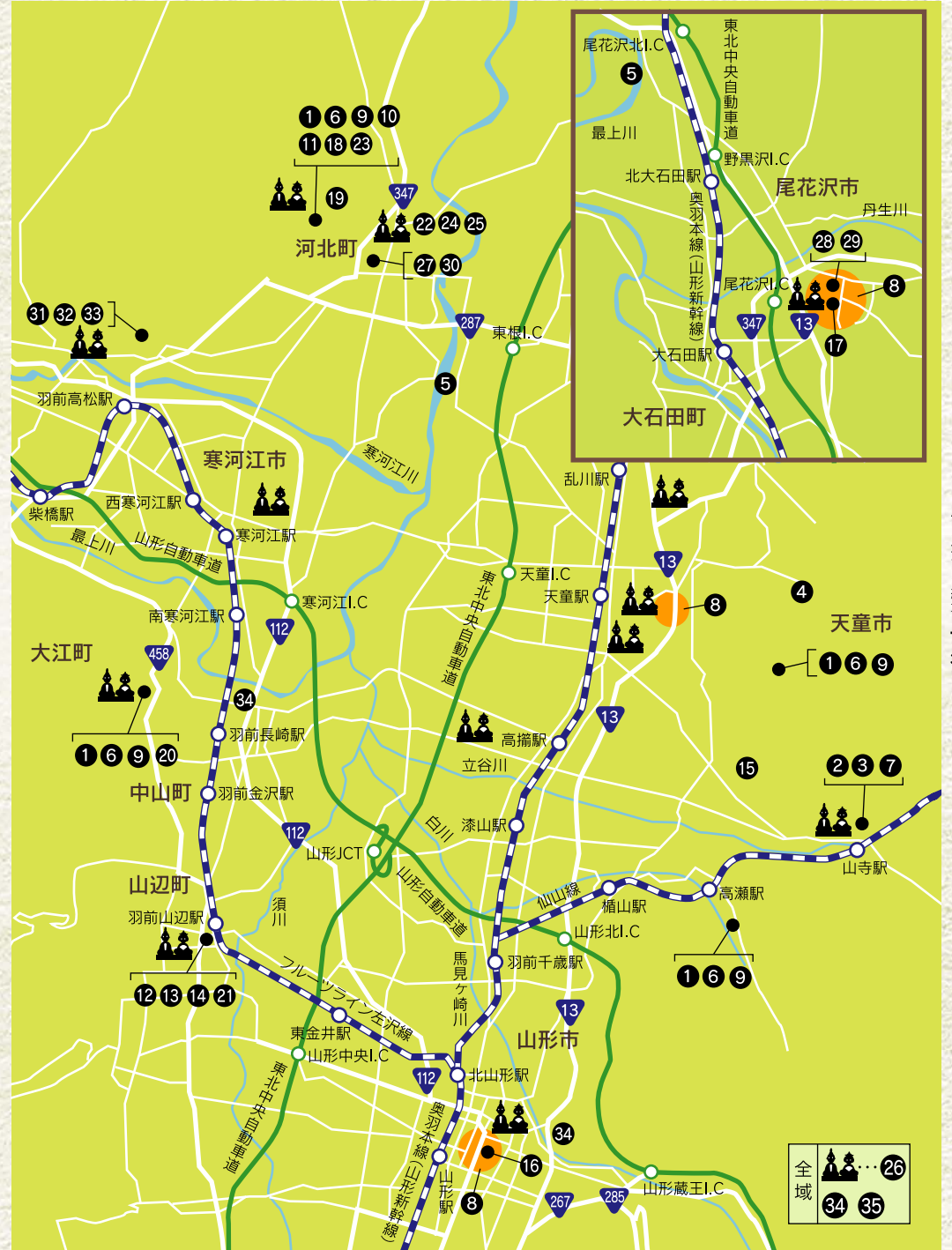
[花笠まつり]

東北四大まつりの一つとして数えられる花笠まつりは、踊り手が手にしている花笠は、紅餅をむしろに広げて干す様子を、踊り手が練り歩く姿は一面に広がる紅花畑の光景をあらわしています。

[ひな市(ひなまつり)]

北前船の帰り荷として京都から運ばれた雛人形が、県内各地に数多く残ります。毎年、ひなまつりの時期には「ひな街道」、〈雛のみち〉などのイベントが開かれ、当時の繁栄を伝える雅な人形の姿を一目見ようと、全国から多くの人が訪れます。

日本遺産「山寺と紅花」構成文化財MAP



ストーリーの構成文化財一覧表

番号	文化財の名称(掲載頁)	指定等の状況	文化財の所在地
①	紅花畑の景観 (P30)	未指定	山形市、天童市、中山町、河北町
②	山寺 (P29)	国名勝史跡	山形市
③	立石寺中堂	国重文(建造物)	山形市
④	若松寺観音堂	国重文(建造物)	天童市
⑤	最上川 (P27)	未指定	寒河江市、天童市、尾花沢市、中山町、河北町
⑥	紅餅の製作技術 (P30)	未指定	山形市、天童市、中山町、河北町
⑦	紅花屏風 (P29)	県指定(絵画)	山形市
⑧	花笠まつり (P30)	未指定	山形市、天童市、尾花沢市
⑨	紅花まつり (P30)	未指定	山形市、天童市、中山町、河北町
⑩	紅花染め衣装(亀綾織絹地鶴亀 二松竹梅福寿模様藍二墨ト紅 曙染女中裁祝着)	町指定 (有形民俗)	河北町
⑪	紅花染め衣装(揚柳上布地籬二 春花模様藍墨ト紅ノ曙染単 大振袖)	町指定 (有形民俗)	河北町
⑫	紅花染め衣装(元禄紅花染小袖) (P29)	町指定(工芸品)	山辺町
⑬	紅花染め衣装 (縮緬紅花染振袖A)	町指定(工芸品)	山辺町
⑭	紅花染め衣装 (縮緬紅花染振袖B)	町指定(工芸品)	山辺町
⑮	芭蕉の句碑 (P28)	未指定	天童市
⑯	紅の蔵及び収蔵資料 (旧長谷川家) (P27)	未指定	山形市
⑰	芭蕉、清風歴史資料館 (旧丸屋鈴木家) (P27)	未指定	尾花沢市

⑱	紅花資料館及び収蔵資料 (旧堀米家) (P27)	町指定(建造物)	河北町
⑲	旧安部家住宅と屋敷 及び収蔵資料	町指定(建造物)	河北町
⑳	旧柏倉家住宅及び収蔵資料(P27)	県指定(建造物)	中山町
㉑	ふるさと資料館及び収蔵資料 (旧佐藤家) (P27)	未指定	山辺町
㉒	次郎左衛門置上げ立雛	町指定(工芸品)	河北町
㉓	享保内裏雛	町指定(工芸品)	河北町
㉔	御所人形	町指定(工芸品)	河北町
㉕	からくり人形	町指定(工芸品)	河北町
㉖	ひな市(ひなまつり) (P30)	未指定	山形市、寒河江市、天童市、尾花沢市、 山辺町、中山町、河北町
㉗	林家舞楽 (P28)	国無形民俗	河北町
㉘	尾花沢雅楽 (P28)	市指定(無形)	尾花沢市
㉙	尾花沢まつり囃子	市指定(無形)	尾花沢市
㉚	谷地八幡宮	未指定	河北町
㉛	慈恩寺旧境内	国史跡	寒河江市
㉜	木造弥勒菩薩及び諸尊像 附弥勒菩薩像内納入品	国重文(彫刻)	寒河江市
㉝	本山慈恩寺本堂 (P28)	国重文(建造物)	寒河江市
㉞	芋煮 (P29)	未指定	山形市、寒河江市、天童市、尾花沢市、 山辺町、中山町、河北町
㉟	おみづけ(近江漬) (P30)	未指定	山形市、寒河江市、天童市、尾花沢市、 山辺町、中山町、河北町

作付面積・生産量等

江戸時代の紅花生産高の全国的地位

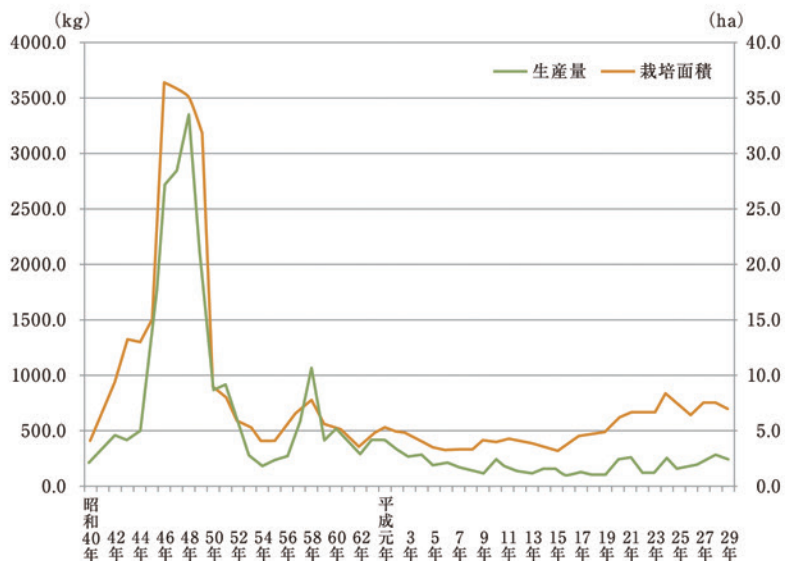
享保期における全国生産額

産地	生産概数
全 国	1,020 駄
出羽最上	415
奥州福島	120
奥州三春	30
奥州仙台	250
西国肥後	100
尾 張	10
遠 江	10
相 模	15
其 他	(不明)

(阿部孝吉家史料による)

※資料：「改訂 最上紅花史の研究」(今田信一著、1979年)より引用

紅花加工品(紅餅、すり花、乱花)の生産量と栽培面積の推移



※資料：山形県紅花生産組合連合会調査

小・中・高校生の活動紹介

古くから紅花栽培を続けてきた地域の学校では、紅花を切り口に生まれ育った地域の歴史や文化を知り、地域づくりにも繋がる学習を行っています。

【山形市立出羽小学校6年生】

一連の紅花栽培や紅花染めの体験、紅花を核とした地域づくりへの子どもたちによる提案、手作りのパンフレット配布など多岐にわたる活動をしています。



【山形市立高瀬小学校3～6年生】

高瀬地区の特産品として有名な紅花を育ててみたい」

3年生：学校の畑で紅花栽培

4年生：紅花を使った料理作りや紅花の染め物体験

5年生：3年生と共に「高瀬紅花音頭」の発表に向けた学習活動

6年生：高瀬地区の歴史や構造物を取材し、パンフレットを作成します。観光客へのガイド役も担当します。



【白鷹町「日本の紅(あか)をつくる!」】

花摘みには、町の小中学校・高校・専修学校の児童・生徒がボランティアとして参加。全ての学校で紅花を花壇や畑で育てて、給食の献立に若菜を加えて食べたり、紅花染めも体験します。



やまがたの紅花

県民が誇る日本遺産
BOOKLET

発行 「山寺と紅花」推進協議会
事務局：山形県教育庁文化財・生涯学習課内
〒990-8570 山形県山形市松波二丁目8-1
TEL：023-630-2875 FAX：023-630-2874
URL：<http://yamadera-benibana.jp/>

お問い合わせ先 「山寺と紅花」推進協議会
山形県教育庁文化財・生涯学習課 TEL：023-630-2875
山形県観光文化スポーツ部観光立県推進課 TEL：023-630-2372
山形県農林水産部園芸農業推進課 TEL：023-630-3380

印刷 株式会社 ハイスタッフ